

三重県議会議員  
自民党会派



# 村林さとし

県政レポート

## 県政かわら版

2018年 3月号

いつもありがとうございます。三重県議会議員をさせて頂いております、村林さとしです。2016年3月2日に行いました、一般質問について、ご報告します。結びの部分に、現在(2018年3月)からの視点で解説を加えてあります。

※要約したもの他に、『被害状況に対応した獣害対策』、『歴史・文化資料の公開』について質問しました。

### 一般質問の要約

#### ◆定住のための仕事創出について

**質問** (村林さとし) 土地を所有し続けることができないという声を地元から聞くようになってまいりました。個人、法人を問わず、また、農地、山林、宅地を問わず、こういう土地が非常に増えて、これから向こう10年ぐらいで大問題になるだろうと考えられます。

では、なぜ、そもそも土地を所有し続けられなくなっているのかというように考えてみますと、これまではそれぞれの土地を産業として守ってきたものが成り立たなくなっている、それぞれの土地の上で行われてきた人々の営みが続けられなくなっているということです。つまりは、それぞれの土地を守ってきた人がいなくなるということだと考

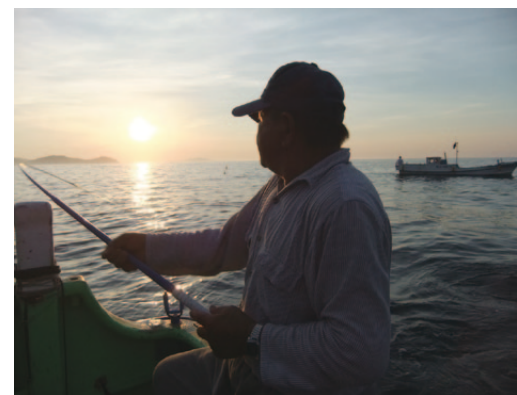
えると、この土地の問題と、そして、人口の面から問題を捉えようとする地方創生は、同じ軸の上にある、裏表の関係にあるとも言えます。

条件不利地域において連綿と人々が営みを紡ぎ続けていくためには、定住の視点で、大きくもうからなくても持続可能な仕事を創出することが重要であると考えます。

**答弁** (知事 鈴木英敬) 仕事の創出は、若者の定着やU・Iターンの促進、都市部からの移住の促進などにつながるものであり、地域の活力の維持向上に向けて最重点で取り組んでいきたいと考えています。

例えば、U・Iターンの若者による農村資源を活用した新たなビジネスへのチャレンジに対する支援や、中山間地域農業を起点とした新たな就業機会の創出を目指すプロジェクト、農山漁村の資源を生かした地域観光の創出や交流ビジネスに取り組む地域のブラッシュアップ支援など、条件不利地域において新たな取組を展開するための事業費を、平成28年度当初予算及び平成27年度2月補正予算に計上したところであります。

地域資源を生かした新たなビジネスモデルの構築を促進するなど、持続可能な仕事の創出と雇用の確保にしっかりと取り組んでまいりたいと思います。



#### ◆南部地域における仕事モデルの開発について

**質問** (村林さとし) 農林水産業が盛んで、特に人口流出が著しい南部地域において、市町と協力しながら仕事モデルの開発に取り組んでいてもらいたいと考えますが御所見はいかがでしょうか。

(裏面へ続きます)

**答弁** (地域連携部南部地域活性化局長 亀井敬子) 農林水産業が盛んな南部地域におきまして地方創生を進める上でも、農林水産業を軸とした仕事モデルを研究していくことは有意義な取組だというふうに考えております。先進地の好事例の収集や整理に努め、農林水産部をはじめ関係部局との連携も図りながら、市町とともに研究してまいります。

#### ◆農業・漁業の後継者対策

**質問** (村林さとし) 親の後を継いで農業・漁業を始める場合には、担い手対策の助成対象にならないというようなことも聞きます。後継者というのは最も有力な担い手であります。しっかり後を継いでもらえるよう支援をするべきだと考えますが、いかがでしょうか。

**答弁** (農林水産部長 吉仲繁樹) 青年就農給付金制度について、親の後継ぎとして就農する場合には5年目までに親から子に経営を継承するという条件がつきますが、この制度は活用いただけます。子どもへの経営の継承を考えています農業者などの皆さんに対して税理士や雇用アドバイザーを派遣するなど、就業環境の整備を促進しているところであります。

一方、漁業関係では、より確実な定着が見込める漁家子弟が親の後継ぎとなれるよう促進していくことが重要と考えています。青年就業準備給付金がございます、漁家子弟であっても独立自営や親と共同経営を目指す場合には利用が可能です。また、新規漁業就業者が漁業現場で実地研修する場合に研修費を助成する長期研修制度は、4親等以上の漁業者のもとで研修をすれば、研修終了後は親の後継ぎとなっていくことが可能です。

#### ◆地域内経済の循環について

**質問** (村林さとし) 外から地域にお金が入ってきても、そのお金がすぐに東京などの大都市圏へ出ていくと、地域経済への波及効果がないと思います。できるだけ長くその地域でお金が回るような足腰の強い地域経済にしなければならないと思うのです。こういう視点、考え方を持って雇用経済部には取り組んでいてもらいたいのですが、御所見はいかがでしょうか。

●答弁は割愛します。



#### 解説

結びに、現在(2018年)からの視点で解説します。

このときの一般質問は、地方創生『三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略』ができたところであり、地域に若者が住み続けられるようにする、そのためには定住の視点から仕事を創ることだ、ということ強く言いました。

『地域内経済の循環について』の質問は、特に商工関係のみなさんは当然のことだとお感じではないでしょうか。その通りだ、と言ってくださった先輩議員も何人かおられました。しかし現在でも県は、この視点が弱いのです。県なのだからと、三重県全体でしか考えられないことが多いのです。私は、もっと地域ごとに経済圏が分かれていると考えていまして、それぞれの循環があるはずだと考えています。

今後も、これらの考えのもと、取り組んで参ります。

普段の生活の中で感じていることやご意見等もお気軽に。

発行：編集「村林さとし事務所」  
「村林さとし後援会」

〒516-0101 三重県度会郡南伊勢町五ヶ所浦727-4  
TEL:0599-67-0067 FAX:0599-67-0068  
ホームページ <http://www.murabayashi.net>